

南信教育事務所だより

第5号

12月19日(木) 発



共鳴

師走になりました。2学期もたくさんの学校を訪問させていただきました。今号では訪問で見せていただいた子どもたちと共に歩まれる素敵な先生方の姿、各種研修で生まれた共鳴についてお届けします。

学校訪問で出会った、素敵な先生方を紹介します

U小学校の栄養士N先生は、担任の先生方と共に、作り手の調理員さんの思いが子どもに届くように授業や給食だより『もぐもぐ』など様々な工夫をして伝えています。また、家庭科の授業では、献立に込めた思いを伝えています。

給食管理でお忙しい中、子どもに積極的にかかわって食育をすすめる姿はとても勉強になりました。



担任の先生方は、給食の片付けの時間、子どもと返却の様子を見とどけます。給食係の先生は、児童会給食担当の子どもと共に、調理員さんの作業がしやすくなるように丁寧に片付けをしています。

全職員で給食の時間を大切に、「感謝の心」を育てているU小学校の実践に学ばせていただきました。





子どもと同じ活動をして
みるM小学校の先生方

「作っている時は夢中で、人
のを見ようと思わなかった。
子どもも同じだと思う」M小
学校の研究会での発言です。

事前研究会で、先生方が本
時に扱う教材に触れて活動し
てみることで、研究会が活性
化することを学びました。

自分を磨き続けるY先生

ベテランのY先生の専門は体育。でも
「私は図工の指導が苦手なので、研究授
業をやらせてください」と授業者に立候
補されたそうです。

どれだけ経験を積み重ねても、常に求
めていく姿勢を忘れてはいけないこと
を、Y先生の姿から教えられました。



研究と研究をつなぐA研究主任

H中学校では教科ごと、年間10回近い研究授業が行われま
す。A研究主任は全部の研究会に参加し、教科の枠を超えて学
びたいことを発信し続けています。

こうした研究主任の動きが、研究の活性化と連続性を生み出
しているのを感じました。

■地域と教室を結びつけるT先生
(小学校3年 社会科)

子ども達が地域を歩き、自分の目で発見し、自分の耳で聞いたことや考えたことをいっぱい語り合う授業の楽しさを教えていただきました。



■まずは先生が地域へ出る！！

T先生は、公民館の方とも親しくなり公民館が作っている「かるた」も活用することにしました。かるたには、地域の歴史、産業、名所などが記されていて、地域と子どもをつなぐ素晴らしい教材となりました。

足でかせく教材研究の大切さを学びました。

子どもの中にある実践力を信じるA先生

3年生の子どもたちと学級会の計画を立て、子どもたちに会の進行を任せたA先生。大喜びで司会をする子どもたち。自分たちで考え、互いの考えを認め合い自分たちで決めだしていく活動に喜びを抱く子どもたち。A先生はそれらの姿をしっかりと見つめていました。A先生の姿から、「子どもたちの中に在る自主的実践力の芽」を信じ、支えることの大切さを学びました。





W小学校のO先生は、子どもたちと一緒に「くじらぐも」に乗りながら場面の様子を想像する授業を行いました。少人数の強みを生かし、子どもたちの読む意欲の引き出し方を教えていただきました。

「天までとどけ1, 2, 3」のかけ声でくじらぐもに乗る！一気に子どもたちが物語の世界に入っていき導入でした。



運動のおもしろさに引き込む教材化

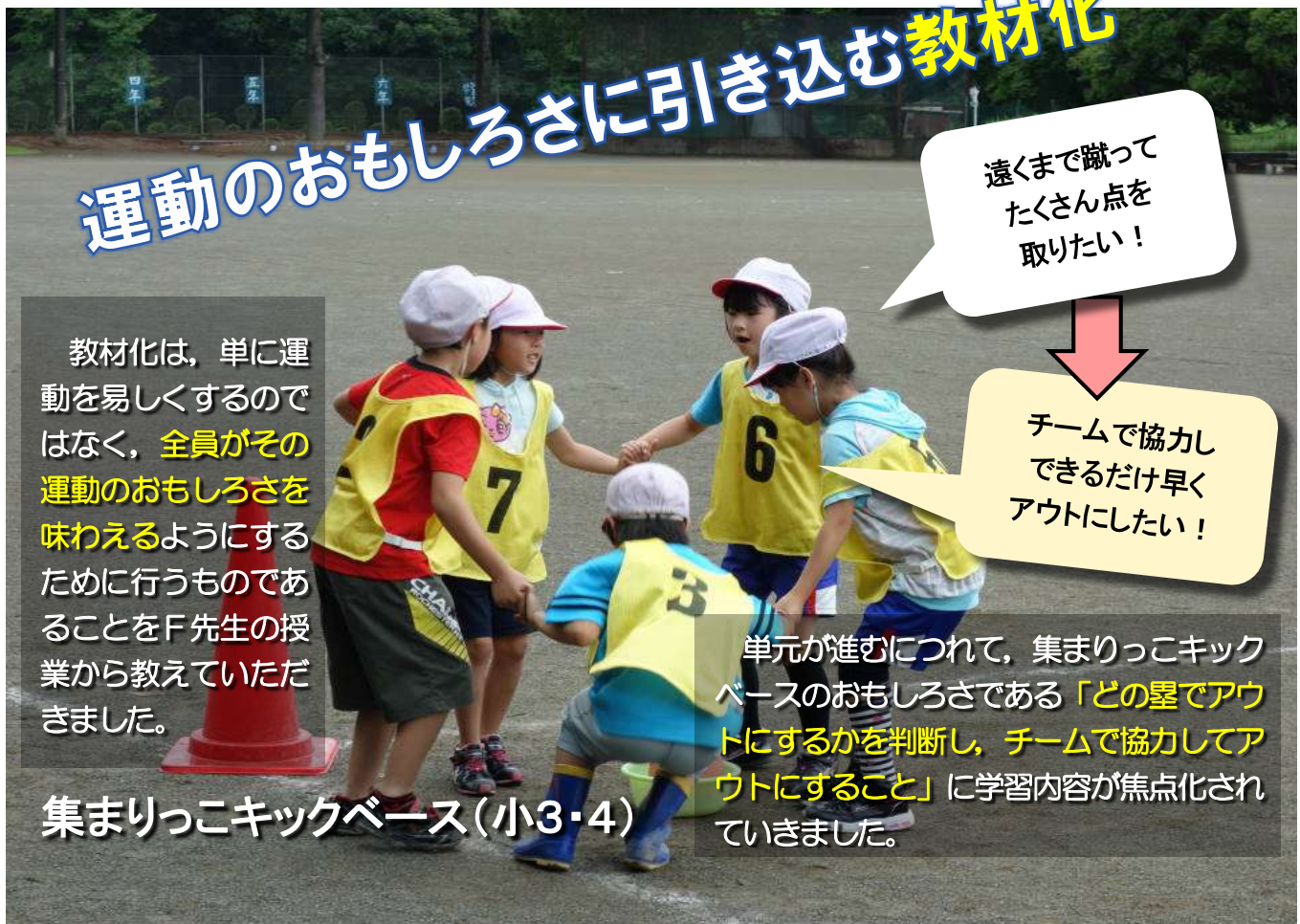
教材化は、単に運動を易くするのではなく、**全員がその運動のおもしろさを味わえる**ようにするために行うものであることをF先生の授業から教えていただきました。

遠くまで蹴ってたくさん点を取りたい！

チームで協力しできるだけ早くアウトにしたい！

単元が進むにつれて、集まりっこキックベースのおもしろさである「どの塁でアウトにするかを判断し、チームで協力してアウトにすること」に学習内容が焦点化されていきました。

集まりっこキックベース(小3・4)



初任者研修（教師力向上研修） 10月1日（火）伊那合庁

講義「特別支援教育の視点を
いかした授業づくり」

演習「授業を構想しよう」

初任者の声

- ★特別支援教育の視点、「受容は大切。しかし容認はしない」ということが印象に残った。
- ★支援が必要な生徒にとって分かりやすい授業は、全ての生徒にとって分かりやすい授業だと思うので、今後に生かしていきたい。

初任者の声

- ★今まで自分の都合に合わせた指導案を作っていた。子どもの顔が浮かぶような指導案を作っていきたい。
- ★同じ教科の先生と、同じ悩みを共有できることが本当に励みになりました。自分だけでは、やはり限界があることも感じました。
- ★自分の指導案にアドバイスをいただき参考になった。「三年とうげ」を扱うのが楽しみになった。みんなで授業を考えていくのは楽しいと思った。教材研究をこれからもがんばりたい。
- ★子どもの意識の流れを中心に授業構想することで、自分が悩んでいたことが解決できることが分かった。いつのまにか、教科書を教えようとしている自分に気づくことができた。

次回の初任研は
1月21日（火）
教科等指導研修Ⅲです！
仲間の授業から
学びましょう！



南信教育事務所 〒 396-8666 伊那市荒井3497 伊那合同庁舎内
TEL 0265-76-6860 FAX 0265-76-6859
76-6861 メール nanshinkyo@pref.nagano.lg.jp